

令和7年度「第1次」山口大学における発注の見通しの公表について

山 口 大 学

山口大学における令和7年度第1次の工事の発注の見通しを下記のとおり公表します。

なお、ここに掲載する内容は、令和7年2月27日現在の見通しであるため、実際に発注する工事がこの掲載と異なる場合、又はここに掲載されていない工事が発注される場合があります。

記

○総合評価落札方式（標準型）

該当なし

○総合評価落札方式（実績評価型）

2-1 工 事 名：山口大学（常盤）情報講義棟（仮称）新営工事

- 1) 工 事 種 別：建築一式工事
- 2) 工 事 場 所：山口県宇部市常盤台2丁目16-1 山口大学常盤団地構内
- 3) 工 期：約12カ月
- 4) 工 事 概 要：情報講義棟（仮称）（鉄骨造2階 延680㎡程度）の新営工事
- 5) 予定工事発注規模：2億円以上 6億円未満
- 6) 公 告 予 定 時 期：第1四半期
- 7) 入札予定時期（契約予定時期）：第2四半期

2-2 工 事 名：山口大学（常盤）情報講義棟（仮称）新営電気設備工事

- 1) 工 事 種 別：電気工事
- 2) 工 事 場 所：山口県宇部市常盤台2丁目16-1 山口大学常盤団地構内
- 3) 工 期：約12カ月
- 4) 工 事 概 要：情報講義棟（仮称）（鉄骨造2階 延680㎡程度）の新営に伴う電気設備工事
- 5) 予定工事発注規模：7千万円以上 1億円未満
- 6) 公 告 予 定 時 期：第1四半期
- 7) 入札予定時期（契約予定時期）：第2四半期

2-3 工 事 名：山口大学（常盤）情報講義棟（仮称）新営機械設備工事

- 1) 工 事 種 別：管工事
- 2) 工 事 場 所：山口県宇部市常盤台2丁目16-1 山口大学常盤団地構内
- 3) 工 期：約12カ月
- 4) 工 事 概 要：情報講義棟（仮称）（鉄骨造2階 延680㎡程度）の新営に伴う機械設備工事
- 5) 予定工事発注規模：7千万円以上 1億円未満
- 6) 公 告 予 定 時 期：第1四半期
- 7) 入札予定時期（契約予定時期）：第2四半期

2-4 工 事 名：山口大学（小串）ライフライン再生（給水設備）工事

- 1) 工 事 種 別：管工事
- 2) 工 事 場 所：山口県宇部市南小串1-1-1 山口大学小串団地構内
- 3) 工 期：約8か月
- 4) 工 事 概 要：小串団地構内の屋外給水設備の更新
- 5) 予定工事発注規模：1億円以上 2億円未満
- 6) 公 告 予 定 時 期：第1四半期
- 7) 入札予定時期（契約予定時期）：第2四半期

2-5 工 事 名：山口大学（常盤）屋内体育施設改修工事

- 1) 工 事 種 別：建築一式工事
- 2) 工 事 場 所：山口県宇部市常盤台2丁目16-1 山口大学常盤団地構内
- 3) 工 期：約8カ月
- 4) 工 事 概 要：体育館（鉄筋コンクリート造平屋建 延1,456㎡）の改修工事
- 5) 予定工事発注規模：2億円以上 6億円未満
- 6) 公 告 予 定 時 期：第2四半期
- 7) 入札予定時期（契約予定時期）：第2四半期

2-6 工 事 名：山口大学（吉田）未来型食料生産学修施設等新営工事

- 1) 工 事 種 別：建築一式工事
- 2) 工 事 場 所：山口県山口市吉田1677-1 山口大学吉田団地構内
- 3) 工 期：約8カ月
- 4) 工 事 概 要：未来型食料生産学修施設（鉄骨造平屋建、延384㎡）及び未来型食料生産研究施設（鉄骨造平屋建、延225㎡）の新営工事
- 5) 予定工事発注規模：2億円以上 6億円未満
- 6) 公 告 予 定 時 期：第2四半期
- 7) 入札予定時期（契約予定時期）：第3四半期

○最低価格落札方式

3-1 工 事 名： 山口大学（吉田）収納舎等取こわし工事

- 1) 工 事 種 別： 建築一式工事、解体工事
- 2) 工 事 場 所： 山口県山口市吉田1677-1 山口大学吉田団地構内
- 3) 工 期： 約2カ月
- 4) 工 事 概 要： 附属農場収納舎（鉄骨造平屋建 延340㎡）、倉庫（鉄骨造平屋建 延30㎡）、倉庫（ブロック造平屋建 延17㎡）の取こわし工事
- 5) 予定工事発注規模： 3千5百万未満
- 6) 公 告 予 定 時 期： 第1四半期
- 7) 入札予定時期（契約予定時期）： 第1四半期

3-2 工 事 名： 山口大学（吉田）農学部・共同獣医学部本館（Ⅲ期）外部改修工事

- 1) 工 事 種 別： 建築一式工事、防水工事
- 2) 工 事 場 所： 山口県山口市吉田1677-1 山口大学吉田団地構内
- 3) 工 期： 約6カ月
- 4) 工 事 概 要： 農学部・共同獣医学部本館（鉄筋コンクリート造4階 延9,733㎡）の屋上防水改修
- 5) 予定工事発注規模： 3千5百万円以上 7千万円未満
- 6) 公 告 予 定 時 期： 第2四半期
- 7) 入札予定時期（契約予定時期）： 第2四半期

以上

# 工事概要資料

※資料の無い工事もあります

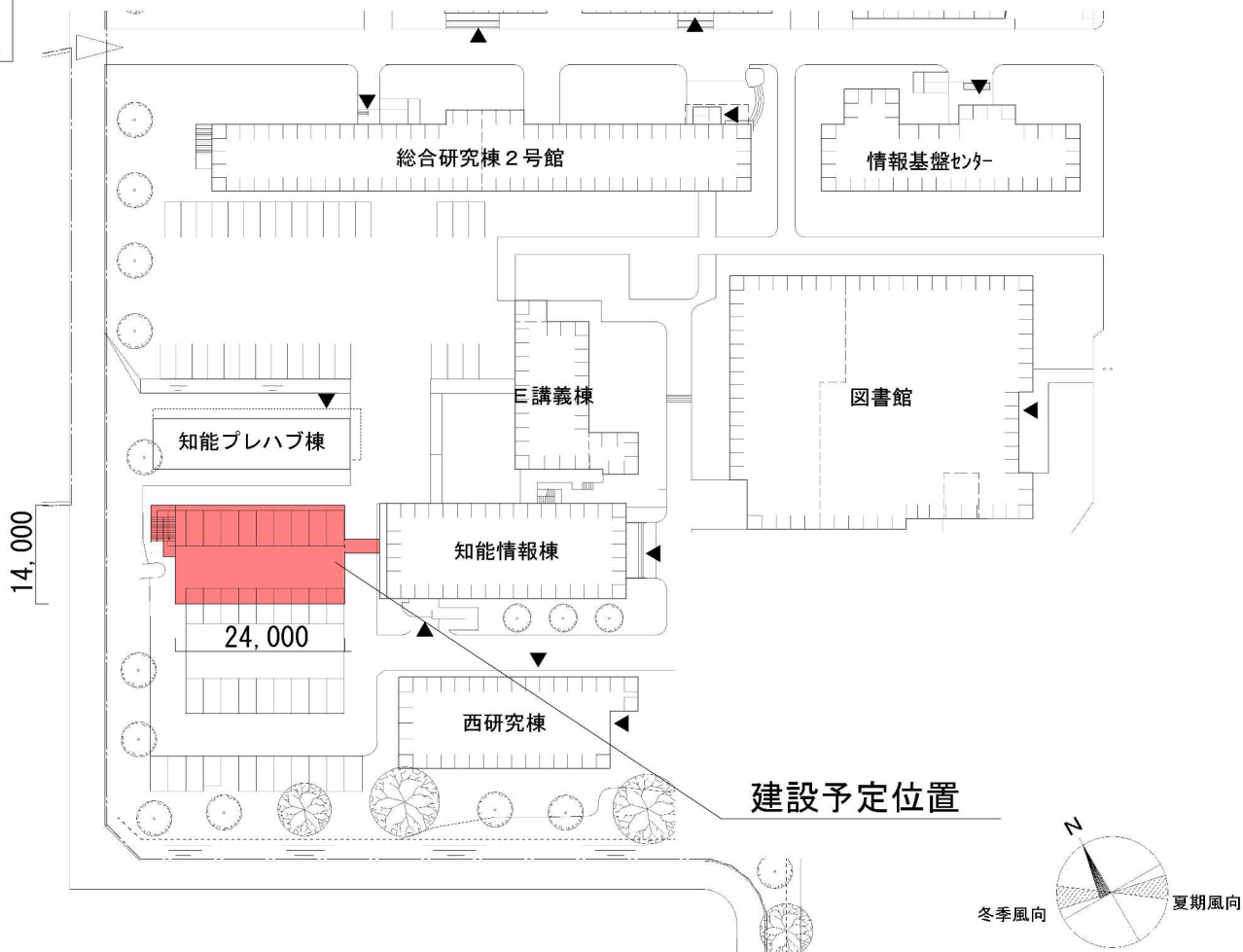
令和7年2月現在

# 事業名 (常盤) 情報講義棟 (仮称) 新営

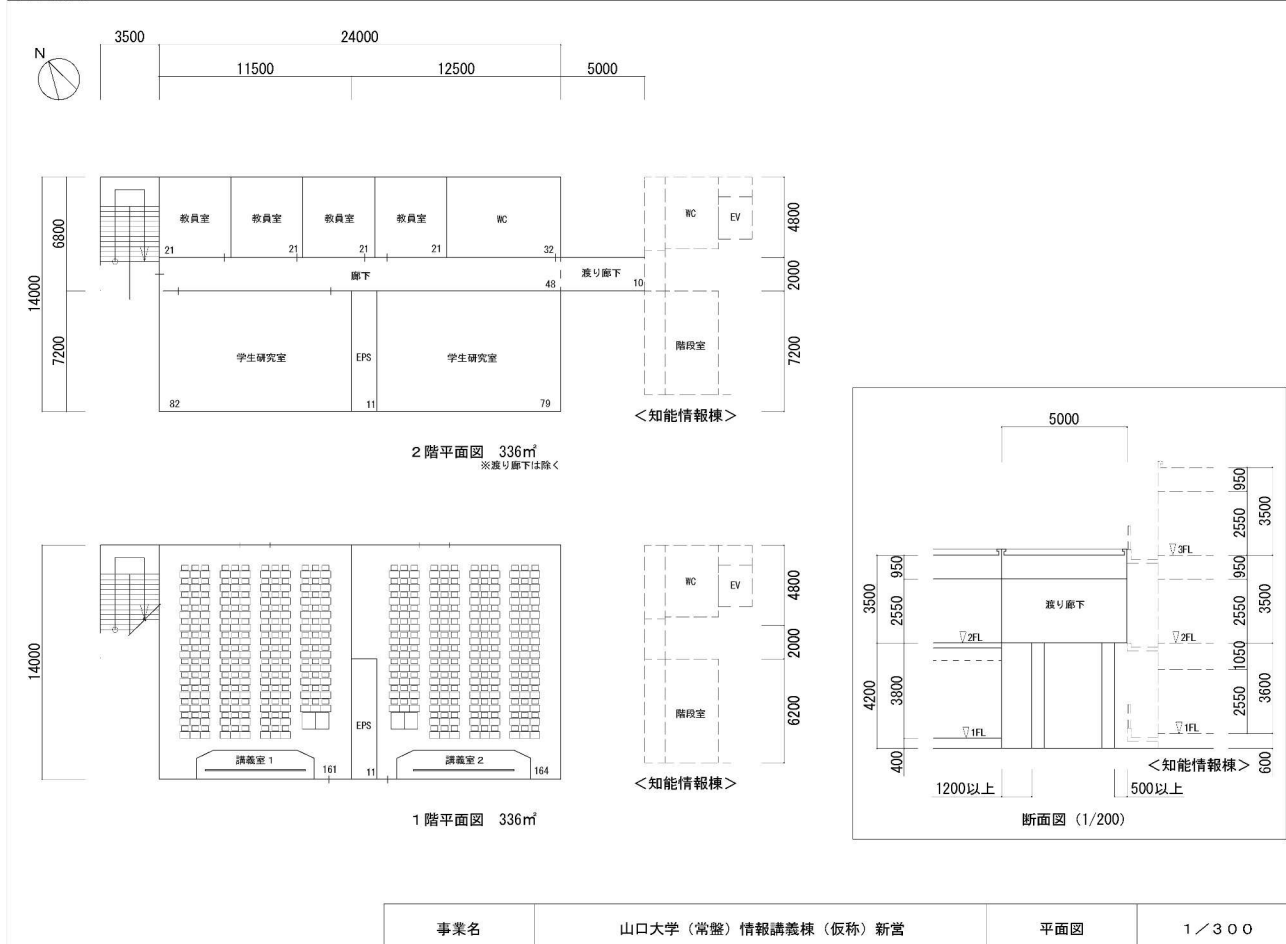
## 関連工事名

- |     |     |                                 |
|-----|-----|---------------------------------|
| 2-1 | 工 事 | 名：山口大学 (常盤) 情報講義棟 (仮称) 新営工事     |
| 2-2 | 工 事 | 名：山口大学 (常盤) 情報講義棟 (仮称) 新営電気設備工事 |
| 2-3 | 工 事 | 名：山口大学 (常盤) 情報講義棟 (仮称) 新営機械設備工事 |

# 配置図



(平面計画) S2-672㎡



# 事業名 (小串) ライフライン再生 (給水設備)

## 関連工事名

2-4 工 事 名 : 山口大学 (小串) ライフライン再生 (給水設備) 工事

# A-3 (小串)ライフライン再生(給水設備)

一式 経年46年

## ◆事業内容

・老朽化した給水設備、屋外給水管の更新。

整備項目	整備内容	備 考
給水設備	老朽化した揚水設備の更新	経年46年
屋外給水管	老朽化した配管の更新	経年46年

## ◆事業効果

・故障や不具合の発生による教育・研究への影響を未然に防止。  
 ・安全・安心な教育研究環境を確保。

### ◆事故事例

漏水あり(H28年に2回)

### ◆改修歴

なし



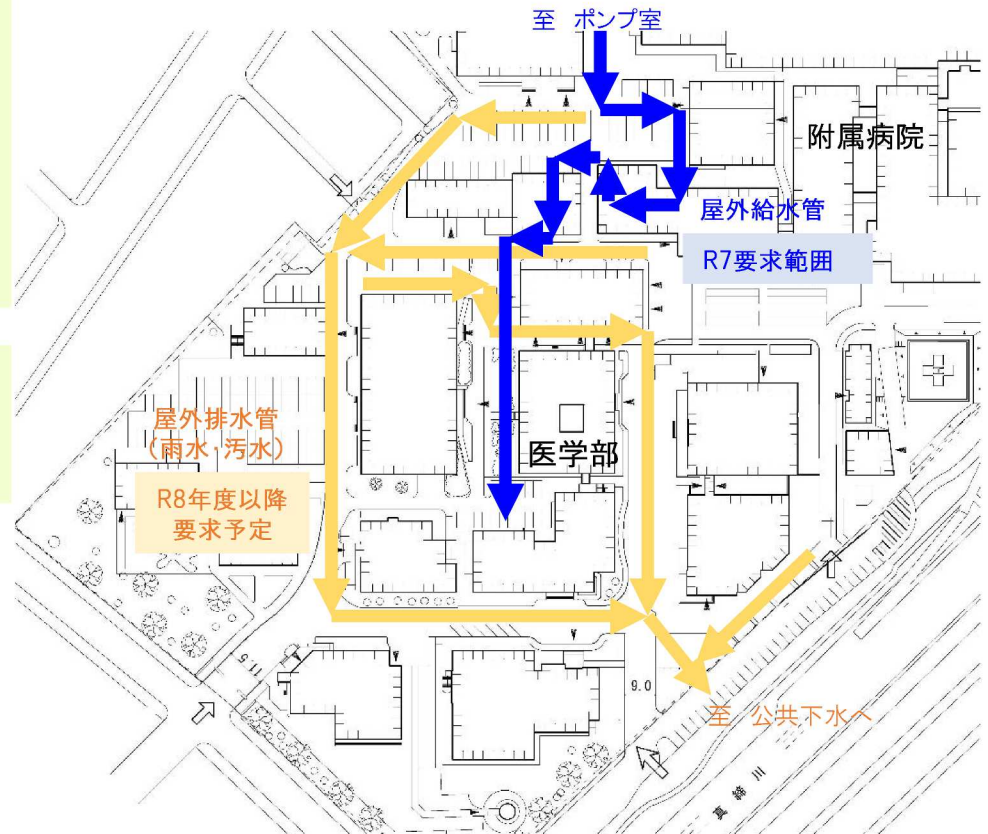
給水管の様子(共同構内)



給水管の接手部分の腐食・漏水(共同構内) H28.3



給水管の接手部分の漏水(共同構内) H28.7



揚水ポンプ(1978年製)



制御盤(1978年製)



# 事業名（常盤） 体育館改修

## 関連工事名

2-5 工 事 名： 山口大学（常盤）屋内体育施設改修工事



# 事業名（吉田）未来型食料生産学修 施設等改築

## 関連工事名

- 2-6 工 事 名：山口大学（吉田）未来型食料生産学修施設等新営工事
- 3-1 工 事 名：山口大学（吉田）収納舎等取こわし工事

◆現状・課題

・附属農場は「新技術の実践的価値を実証する場」「研究から得られた基礎的成果を社会実装につなげるための実証の場」としての役割を担っているが、**既存の農場施設には、農業教育・農業技術の近代化に対応するためのインフラが整備されておらず教育研究活動の展開に支障。**また、**耐用年数を大幅に超過しており、構造部材・内外装材の経年劣化も著しく、安全性の確保にも課題がある。**老朽化した小規模施設・工作物も農場内に多数点在しており危険。  
 ・これらの課題があり、**地域との連携を加速させたいが、既存施設では対応が困難。**

◆事業効果

・農場施設の集約および近代化により、地域のニーズに即した**先端的な農業技術に対する教育・研究・開発・実証活動が可能**となるとともに、**保有施設の総量の縮減**や**カーボン・ニュートラルの実現**にも寄与。  
 ・本事業により、農場の生産施設(水田、畑、温室、植物工場、畜舎、ため池、里山(バイオマス燃料源))などを有機的に結び付け、農場全体を「未来型食料生産モデルの実践の場」として、**スマート農業や次世代農業に関する技術を活用できる人材の育成・輩出により地域の活性化に寄与**するとともに、**地域や自治体との連携を促進。**吉田キャンパスの**イノベーション・commons化**に寄与。

イノベーション・commons化を推進

農場再整備全体計画

【新設面積】			
未来型食料生産研究施設	S1-225㎡	(本事業)	
未来型食料生産学修施設	S1-384㎡	(本事業)	
新牛舎	S1-288㎡	(Ⅱ期)	
新設面積 計	897㎡		
(うち、本事業整備面積609㎡)			
【取壊面積】			
(017) 収納舎	S42	S1-340㎡	(本事業)
(064) 温室c	S48	S1-113㎡	(本事業)
(070) 温室d	S48	S1-113㎡	(本事業)
(107) シックスライト室	S56	S1-63㎡	(本事業)
(079) 倉庫	S52	S1-30㎡	(自己財源)
(031) 倉庫	S43	B1-17㎡	(自己財源)
(018) 牛舎	S42	S2-406㎡	(Ⅱ期)
(038) 貯蔵庫	S43	S1-41㎡	(Ⅱ期)
取壊面積 計	1123㎡		

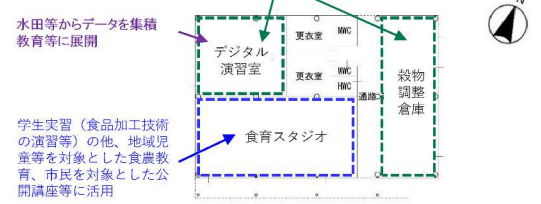
●農場再整備の全体イメージ



▶未来型食料生産学修施設

・デジタル技術の導入により**スマート農業に対応**を図るとともに**教育スペースを整備。**地域や自治体との連携を推進。

最新機器導入による農業の近代化  
スマート農業への対応



▶未来型食料生産研究施設(総合型温室)

・最新の教育研究の実施や未利用資源の活用・循環を目指した「**組換え作物・昆虫飼育・園芸作物生産**」のための**総合型温室**

外部貸し出しスペースを設け企業等との共創を推進  
遺伝子組換え植物用人工光栽培室

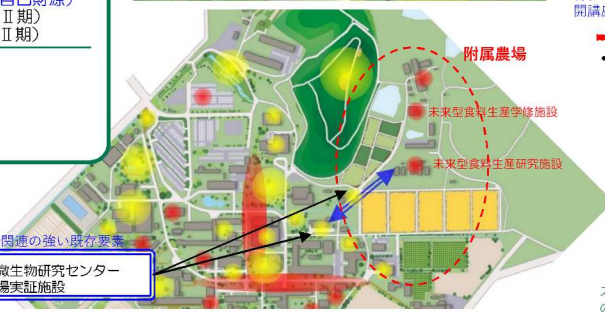


スマート農業への対応、学内の他プロジェクト(中高温微生物研究等)との連携の推進

イノベーション・commons (全体構想案)

イノベーション・commons化のための要素  
● 既存 ● 将来計画

※本事業と関連の強い既存要素  
● 中高温微生物研究センター ● 植物工場実証施設



周辺配置図



温室c、温室d、シックスライト室 ※本事業



収納舎 S1-340㎡(経年57年) ※本事業



牛舎 S2-406㎡



老朽化し危険な小規模建物・工作物等

